

## 今月の安全運転管理目標(9月)

### ☆「秋の交通安全県民運動」の取り組みを強めよう

皆様、8月20日まで実施された「明るいやまがた夏の安全県民運動」の取り組みにご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、今度は9月21日(木)から9月30日(土)までの10日間、「秋の交通安全県民運動」が実施されます。運動の基本は、「子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止」

で、運動の重点は、

- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故防止
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶
- 運転者の基本ルール厳守徹底

の4点です。

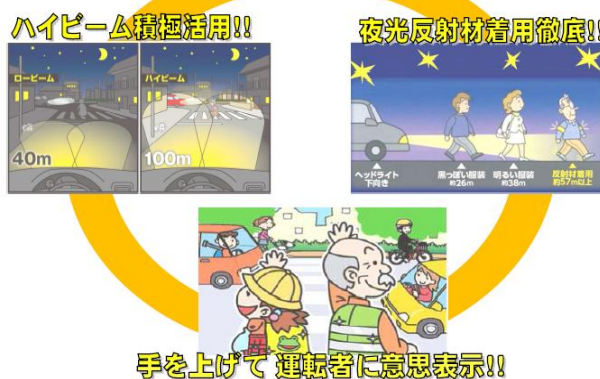
県安管では、特製ポスターを作成し、地区協議会加盟会員様宛に各1枚を配付しておりますので、これを有効に活用し交通事故防止の徹底を図りましょう。

実施期間 9月21日(木)～9月30日(土)

9月30日(土)は「交通事故死ゼロを目指す日」です

### ゆずり合い笑顔とゆとりの山形路

「交通安全県民運動 年間スローガン」最優秀作品



### ☆ 9月は台風・大雨などの災害発生に備えた安全運転管理を徹底しましょう。

——車の運転中に豪雨に見まわれたら——

最近ではよく話題になっている「ゲリラ豪雨」。あっという間に水かさが増し、道路が冠水してしまう危険な雨です。車を運転しているときにゲリラ豪雨に見舞われたら、どのような点に注意したら良いのでしょうか。

- アンダーパスを通るのを避ける

アンダーパスとは、周囲より掘り下げて作られている立体交差のことで、鉄道や幹線道路の下を通る地下道などが当てはまります。大雨時にはアンダーパスは冠水しやすい場所となり、場合によっては数メートルの水が溜まることもある危険な場所です。豪雨時には、このような道路は決して通らないようにしてください。

- 「行けるかも？」運転は禁物

「いつも通っている道だし、これくらいの冠水なら行けるかも」という軽い気持ちで運転するのは非常に危険です。実際に行ってみたら、走行中に前の車が停止してどんどん水かさが増えて身動きがとれなくなるということも考えられます。明らかに冠水している箇所を通るのは避けましょう。

- 携帯電話やスマートフォンアプリを活用する

最近では、ゲリラ豪雨の情報を確認できるアプリがあります。どこで雨が降っているのか、どのように雨雲が移動しているかなどを知ることができるので、雨がひどい時は一旦車を安全な場所に止めてこれらのアプリを活用してみるのもよいでしょう。

## 車内に水が入ってきたらどうする!?

冠水箇所では車のエンジンが止まってしまう、車内に水がどんどん入ってきた場合は慌てずに落ち着いて行動することが重要です。

まず、シートベルトをはずし、ドアを開けて避難します。水がかなりの高さまで来てしまいドアが開かない場合は、窓を開けて脱出しましょう。窓も開かないときは、頑丈でなかなか割れないフロントガラスではなく、サイドガラスを割るようにします。簡単に割れる緊急脱出用のハンマーも販売されていますので、万が一に備えて準備しておくともよいでしょう。

# 9月の安全運転管理目標

## 今月の重点管理

思いやりのある運転で  
高齢者を事故から守ろう

- 対高齢者事故の防止** 高齢者との事故は重大事故に直結するおそれがある。高齢者の行動を予測し、思いやり運転を指導する。
- 運転マナーを指導** 運転マナーを高めることは安全運転につながる。職場単位で運転マナーを定めて、その実践に取り組む。
- 地域の交通安全に貢献** 事業所には地域に根ざした安全活動が求められる。危険箇所マップの作成・配付や道路清掃など地域社会に貢献する活動をすすめる。

## 事故を防ぐ 管理・指導の習慣術

オリジナルの「安全運転スローガン」を毎月更新する

朝礼時に、従業員が唱和する「安全運転スローガン」は、往々にして過去に使用した同じスローガンを使用しがちで、安全唱和がマンネリに陥ると大きな効果を期待できない。

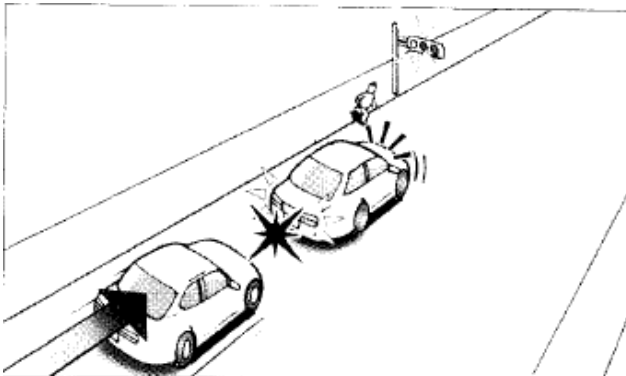
管理者と運転者が、日常生活のなかで気づいたことなどを取り上げて、オリジナルの安全スローガンを考え、毎月更新することで安全意識の高揚につなげる。



## 典型的事故パターンと防止のヒント

### 追突事故③

発進後、  
急停止した前車に追突



#### 【事故パターン】

青信号に変わり、前車に続いて発進したところ、急停止した前車に追突する。

#### 【事故防止ヒント】

信号や前車の動きだけに注意を向けすぎることは非常に危険。発進した前車が横断歩道を渡る歩行者に気づいて発進するのではなく、前車の動静を確認してからゆっくりと発進しよう。

## 気をつけよう 信号無視と危険な横断



高齢者は車に気づかなかつたり、車が来るまでに渡れると判断して横断を始めたりすることがあります。高齢者を見れば「横断するかもしれない」と考え、スピードを落とし、高齢者の動きを見守りましょう。

### 【夜間高齢歩行者死亡の特徴】

- ①17時～20時にかけて多発している
- ②横断歩道以外の横断中に四輪車に衝突される事故が多い
- ③高齢歩行者側の主な法令違反は
  - ・「走行車両の直前直後の横断」
  - ・「横断歩道外横断」
  - ・「斜め横断」
  - ・「横断禁止場所の横断」
- ④ドライバー側の主な事故原因は「横断歩行者の発見遅れ」
- ⑤高齢歩行者は、道路横断開始時よりも横断の後半に衝突される率が高い

### 【ドライバーの注意点】

- ①夜間に道路を横断中の高齢歩行者と衝突する死亡事故が多発していることを認識する。
- ②夕暮れ時(薄暗時間帯)は早めにヘッドライトを点灯する。
- ③走行中は常に視野を広く保ち、特に道路の右方向から横断してくる歩行者の発見に努める。

### 【高齢歩行者の注意点】

- ①夜間は反射材を着用するか、夜間でも目立つ服装をする。
- ②横断する場合は次のルールを守る。
  - ・横断前に左右の安全確認を行い、近づいてくる車が見える場合には横断を開始しない。
  - ・横断の途中に再度安全を確認して、危険な場合は横断を中止して引き返す。
  - ・横断歩道が近くにある時は必ず横断歩道を渡る。
  - ・横断が禁止されている場所では横断しない。
  - ・道路を斜めに横断しない。